

指数算出表兼保育施設利用調整調査書

◆指数算出

1. 入所後の時短勤務の利用について

- ☐ 利用する（母 勤務時間：～：、1日 時間）
（父 勤務時間：～：、1日 時間）
☐ 利用しない

※時短勤務を希望する場合は、就労証明書もしくは上記の勤務時間の記入欄へ必ず記載してください。内定直前及び入所後 6 ヶ月以内に、時短勤務が判明した場合（上記の勤務時間や就労証明書と異なる就労内容）、入所決定時の選考点数に影響するため入所保留・退所になります。

2. 指数算出表

父の基本点数	(点)	$h/\text{日} \times \text{日}/\text{週} \times 4\text{週} = \text{時間}/\text{月}$
母の基本点数	(点)	$h/\text{日} \times \text{日}/\text{週} \times 4\text{週} = \text{時間}/\text{月}$
調整指数	(点)	(点) + (点) + (点)
合計	(点)	

月 120 時間以上の勤務の場合：(☐ 母 / ☐ 父) の社会保険証がある。(※ ☒ を記入)

◆児童調査書（児童名： 、令和7年度 歳児）

※本調書に記載された内容、聞き取りした児童の健康状態に関しては、児童が入所する保育所に提供する場合があります。また、集団生活をするにあたり、日常生活で留意されていることがあれば、必ず園見学をお願いします。その際、留意点等を説明し、園での過ごし方について相談した上で入所申請をしてください。

1. 現在の健康状況

☐ 健康	☐ 通院中 (病名・症状：)	☐ 病気・療養中 (病名・症状：)
☐ 安全に集団生活をするために、日常生活で留意点がある（支援が必要である） (内容：)		☐ なし

※記載漏れや、園での相談をされない場合、内定後であっても園での受け入れ態勢が整わず、受入ができない場合があります。

2. 手帳の有無

□ なし	□ 特別児童扶養手当受給者証	□ 療育手帳（等級：A・B1・B2）
	□ その他（ ）	

【裏面につづきます。】

◆利用調整調査書

1. 入所希望日に入所できない場合について、該当する項目にチェック又は記載をお願いします。

- ☐ 入所申込を取り下げる
- ☐ 就労しない（復職せず育児休業を延長する。）
延長期間： ☐ 1か月毎 ☐（ 年 月 日）まで
- ☐ 就労する（復職予定日に復帰する。）→保育利用が可能になるまでの保育方法にチェック
- ☐ 親族等にみてもらう（続柄： 、名前： ）

☐ 事業所内保育施設・認可外保育施設等を利用する。（施設名： ）

☐ 保育園の一時預かりを利用する。

☐ 認定こども園に在園しており、預かり保育を利用する ※別途申請が必要。

☐ その他（ ）

2. 申込こどものきょうだいについて、該当する項目にチェック又は記載をお願いします。

① きょうだいの 保育施設の在園状況	☐ 在園している (施設名： 、氏名： 、年齢)
	☐ 在園していない
② きょうだいの 同時申込	☐ 同時申込あり ⇒ (氏名： 、年齢) ⇒③へ
	☐ 同時申込なし ☐ 幼稚園 ☐ 親族が保育 ☐ 認可外等 ☐ その他（ ）
③ 同時申込ありと 答えた方について	☐ 同じ入所月に、同じ保育施設の場合のみ利用を希望する。※1
	☐ 同じ入所月であれば、別々の保育施設でも希望する。
	☐ 希望順位が低くても、きょうだいと同じ施設に入りたい。 ☐ きょうだい別々でも、希望順位の高い施設に入りたい。
	☐ 一人だけでは希望しない。 ☐ 一人だけでも利用を希望する。※2 ☐ こども氏名（ ）が先に入所することを希望。 ☐ どちらでもよい。 ※入園できなかった児童は（ ）

※1 きょうだい同施設への入園のみ、利用調整を行います。
※2 きょうだい一人のみの内定であっても、復職等が必要です。

3. その他 利用調整上の参考事項や、保育にあたり配慮が必要な場合は記載をお願いします。

利用調整上の参考事項 (自由記載)	
----------------------	--

令和 年 月 日 児童氏名

保護者氏名 (児童の)